

令和5年度 授業評価実施結果の概要について

本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については、当該担当教員にフィードバックし学生の記述内容を確認いただいた後、各教員から調査結果に対する授業内容・方法への改善などを記述したレポートを、所属の学科長等に直接提出することとしております。

各学科長等はこれを受けて「考察」をまとめ「内部質保証推進会議」で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

- (1) 授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また、「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」を尋ねる記述式の質問項目を設けております。
- (2) 授業評価結果の各質問項目の集計結果については、「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。
自由記述は「授業に対する肯定的評価」「授業に対する要望等」「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。
- (3) さらに、「講義・演習科目」及び「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合を前年度と比較しており、主な項目は次のとおりです。

<医療保健学部・助産学専攻科>

	令和5年度	令和4年度
あなた自身について	88.7%	88.9%
授業内容について	86.9%	88.2%
教員の考え方・姿勢について	84.8%	85.1%

<東が丘看護学部>

	令和5年度	令和4年度
あなた自身について	92.3%	89.6%
授業内容について	91.7%	89.8%
教員の考え方・姿勢について	89.1%	86.8%

<立川看護学部>

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	93.2%	91.3%
授業内容について	92.4%	89.7%
教員の考え方・姿勢について	90.4%	87.5%

<千葉看護学部>

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	94.6%	95.3%
授業内容について	94.2%	94.5%
教員の考え方・姿勢について	92.4%	93.4%

<和歌山看護学部・和歌山助産学専攻科>

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	95.2%	96.7%
授業内容について	96.0%	96.7%
教員の考え方・姿勢について	93.0%	94.0%

<大学院医療保健学研究科>

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	90.2%	89.3%
授業内容について	90.6%	92.1%
教員の考え方・姿勢について	87.8%	91.8%

<大学院看護学研究科>

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	82.0%	86.1%
授業内容について	80.3%	88.4%
教員の考え方・姿勢について	74.4%	81.2%

<大学院和歌山看護学研究科>

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	91.9%	92.7%
授業内容について	95.9%	89.6%
教員の考え方・姿勢について	95.1%	92.7%

＜大学院千葉看護学研究科＞

	令和 5 年度	令和 4 年度
あなた自身について	79.3%	85.0%
授業内容について	88.5%	95.5%
教員の考え方・姿勢について	87.9%	95.6%

- (4) 授業評価結果の経年比較では、各項目によってポイントに多少の増減が見られますが、これらの集計結果を公表することにより、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるものと判断されます。

本学においては、これらの集計結果を公表し、教員の授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるよう、今後も努めてまいります。

令和5年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本 すが

看護学科での4年間は、看護の基盤を育成において重要な期間です。ベースとなる技能を身に着けること、患者、教員、学生同士といった周囲の多様な人々との人間関係を構築するための力を育成していくことがとても大切なことと考えています。コロナ禍の影響を受けて、ICTの活用もあらたな教育方法として導入してきておりますが、これらの技術をいかに活用しつつ教育をしていくかは、引き続き課題と考えています。

以下、授業評価を受けて、回答をいたします。

1. 授業評価の結果について

- コロナ禍を抜け、対面授業が増えたことにより、教員が学生たちの反応をとらえながら、主体的な学びを支援することを把握でき、良かったと思います
- 授業方法、授業内容の課題も捉えることができましたので、教員間で共有し、改善に向けた話し合いを継続していきたいと思います。

2. 授業において工夫した点について

- 実践的な内容を増やし、学生が主体的に考えるための工夫を積み上げてきています。体験的に理解できるよう演習を取り入れ、対面授業、グループワーク機会を大切にし、対話しながら学ぶことができるよう工夫しています
- 授業構成では、講義の最後に練習問題で講義のポイントを再確認させたり、写真・ビデオを用いて視覚的に把握できるようにするなど、理解しやすい工夫をしています。
- オンデマンド授業では、復習したい部分だけを再度閲覧しやすいように動画時間を授業の要点ごとに区切り分割アップロードしていますが、学生の理解度を細かく確認することができないため、小テストの実施や、意見感想にフィードバックするなどの工夫しています。
- 看護技術の確実な習得に向けて、自主練習に取り組みやすいよう、実習室の利用方法などに工夫を重ねています。
- 定期試験だけでなく毎回確認テストを実施したり、グループディスカッション実施時にシートに毎回役割（司会・書記・発表者）を記入するようにしたり、評価へのつながりを明確化することで、学生の取り組みの積極性が高まりました。

3. 今後の授業への生かし方について

- グループワークがメンバー同士の対話ではなく、パソコンでの分担作業となってしまう場合もあることから、授業資料やグループワークのファシリテートを工夫するようにしたいです。
- グループワークでは、LMSの掲示板利用や、共有ファイルの利用を行っておりますが、ファイルが更新されず作業が滞ったという指摘もありました。より良い作業方法について、検討していきたいと思います。
- 実習は様々な人々の中でのリアルな体験であるため、感情が揺れ動くことも多いが、そのような時に教員に相談できない学生もいます。感情の揺れ動きを学びに結び付けられるよう教員が支援していきたいです。
- 非常勤講師科目については、時間割や資料配布についての意見がありました。講師との調整を継続的に行うとともに、学び方のポイントを事前にオリエンテーションするなどの工夫も行っていきたいと思います。

以上

令和5年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する

2. 授業において工夫した点について

学生個々の学修に対する進捗状況を把握するため

対面授業でも遠隔授業（オンライン授業、リアルタイム授業）でも、学生にとってアクティブな姿勢で学修できる授業となるように、教員間で話し合いながら改善していますが、まだまだ改善が必要と考えています。引き続き、①授業方法や内容がわかりやすく、学生が学修しやすい授業、②学生と教員のコミュニケーションができるだけ増える授業、③学生がアクティブな姿勢で学生自らが主体的に学ぶ授業、となるようにところがけてゆきます。

3. 学生に対して

多くの教員は学生の皆さんからの意見・質問を待っています。残念ながら、授業評価アンケートに回答する学生数は、遠隔授業 Web 回答形式になってから全科目で大きく減少しています。学生の皆さんは授業評価アンケートを全員が提出するようにしてください。また自由記載の意見は大変参考になりますので、積極的に記入してください。

当学科では、従来のアドバイザー制度に加えて、3年前から学生問題相談委員会を立ち上げて、教員間で連絡を取りながら、学生生活、進路、学業等に悩みを持つ学生を早期に見出し、より適切に対応できる体制としました。学生の皆さんはオフィスアワーをもっと利用して、担当の主・副アドバイザーに相談してください。また授業に対する意見・希望などを教員に伝えて頂きたいと思います。

令和5

ニット学習を導入

令和5年度 助産学

令和5年度 授業

授業評価アンケート集計結果 年度別

Ⅱ 授業内容について

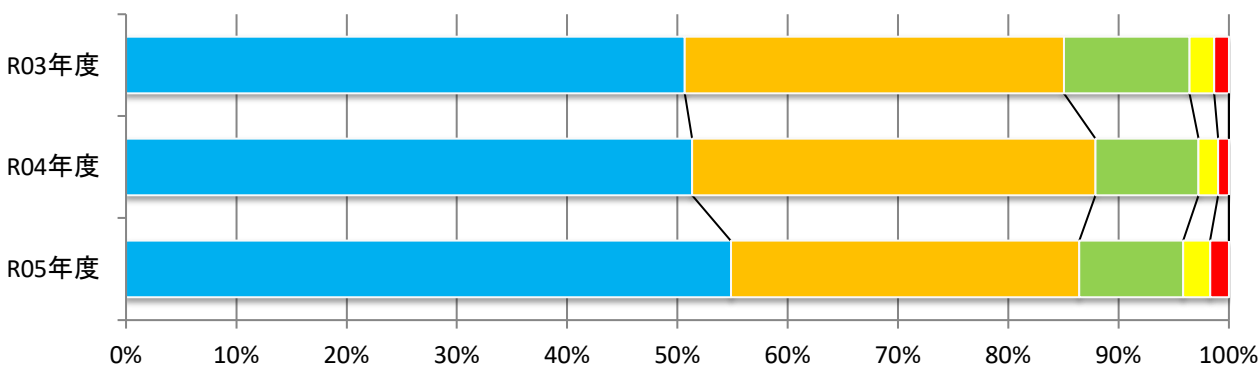
</

◆ 年度別 自由記述

◆ 年度別 授業

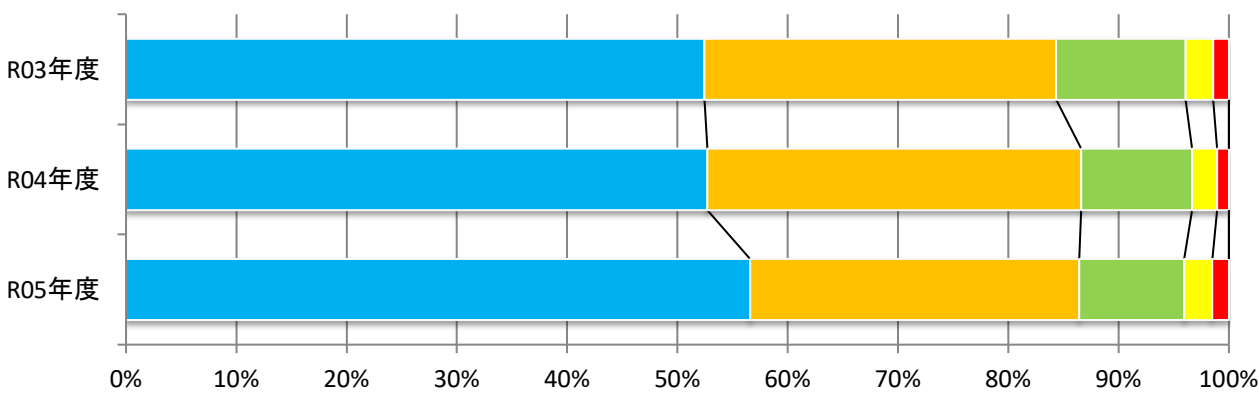
Ⅳ 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.7	34.4	85.1	—
51.3	36.6	87.9	+ 2.9
54.8	31.6	86.4	△ 1.5

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.5	31.9	84.4	—
52.7	33.9	86.6	+ 2.3
56.6	29.8	86.4	△ 0.2

◆ VI

◆ 年度

13.

